

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成27年度第2回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成27年10月22日(木) 18:00~19:00		
場所	小野田保健センター		
出席者	小野田医師会	白澤宏幸	(会長)
	山陽小野田市自治会連合会	平中政明	(副会長)
	厚狭郡医師会	中根比呂志	(委員)
	小野田歯科医師会	田中裕基	(委員)
	厚狭歯科医師会	山崎哲朗	(委員)
	山陽小野田薬剤師会	福田雅子	(委員)
	山陽小野田市連合女性会	井上幸子	(委員)
	山陽小野田市小・中学校PTA連合会	大池泰弘	(委員)
	山陽小野田市母子保健推進協議会	吉田由美子	(委員)
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半矢幸子	(委員)
	山口県看護協会小野田支部	判野信栄	(委員)
	山口県栄養士会宇部地域専門部会	河村典子	(委員)
	山口県歯科衛生士会小野田支部	藤本文子	(委員)
	山陽小野田市社会福祉協議会	沖野浩	(委員)
	一般公募	塩田賢二	(委員)
	一般公募	原田静江	(委員)
	(出席者数 16人)		
欠席者	山陽小野田市ふるさとづくり協議会	石川宜信	(委員)
	山陽小野田市老人クラブ連合会	守田節子	(委員)
	山口宇部農業協同組合	相本まゆみ	(委員)
	(欠席者数 3人)		
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター	岡村恵美子	
事務局	健康福祉部長	河合久雄	健康増進課長
	健康増進課主幹	木本順二	健康増進課課長補佐
	成人保健係主査	石井尚子	健康企画係係長
	母子保健係主任	末永久美	健康企画係主事
			山根愛子
			河野静恵
			大海弘美
			村上良平

1. あいさつ	健康福祉部長あいさつ
2. 議 事 事 務 局 議 長 事 務 局	(1) 第6回健康フェスタについて 資料1(第6回 SOS 健康フェスタについて)の説明 意見、質問等ないか。 去年は1, 200人来場とのことだが、今年目標は何人か。 今年1, 800人を目標としている。
事 務 局 議 長 委 員	(2) 自殺対策事業について 資料2(自殺対策事業について)の説明 意見、質問等ないか。 電話での相談件数や男女比などのデータの集計が必要。集計されたデータを分析し今後の事業へ活用すべき。
事 務 局 委 員	今後、健康相談を行っていく中でこころの相談を受けた件数の統計を出していく。その統計を積み重ねて、相談件数の分析や事業の検討を進めていきたい。 自殺の死亡者数の推移、死亡率の推移について、15年間を通して見ると数値は減ってない。今後、数値を減らすためにはデータを用いた原因究明と対策が有効ではないか。
委 員	私の勤務先の美容室には受付とトイレにこころの健康カードが置かれている。トイレのカードは枚数が減っており、人目に付きにくい所はカードを取りやすく効果的であると思った。
事 務 局	山口県宇部健康福祉センターでも自殺対策事業を行っている。その自殺対策事業を紹介していただきたい。
オブザーバ	山口県の基本目標として、「気づきと絆を大切にして県民誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指している。 山口県宇部健康福祉センターにおける自殺に関する取組として4つ紹介をする。 1つ目は、自殺予防普及啓発事業である。9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間に合わせて睡眠キャンペーン等の事業を行い普及啓発に努めている。 2つ目は、かかりつけ医の研修を行っている。自殺の要因の一つであるうつ病に関する知識を得ることで自殺対策の推進を図ることを目的としている。 3つ目は、自殺対策人材養成事業であり、メンタルヘルス出前講座を実施している。平成26年度は2か所、27年度は現在までに1か所の事業所で行っている。 4つ目は、精神科医によるこころの健康相談を行っている。予約制で無料にて実施している。
議 長	山口県宇部健康福祉センターにおける事業の紹介も踏まえて他に意見、質問等ないか。

委員	<p>こころの健康相談はどこで行われているのか。</p> <p>山口県宇部健康福祉センターで行っている。</p>
オブザーバ	<p>場所がそこであれば、希望者が相談に行くにあたって、他の人から何の目的で来所しているか分かりづらいから安心した。</p>
委員	<p>本市民の相談希望者もそこへ行けばよいか。</p>
オブザーバ	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>9月は自殺予防週間、3月は自殺対策強化月間とのことだが、それらの月は自殺者数が多いのか。全国的な傾向と本市の状況を教えてほしい。</p>
事務局	<p>本市の月別の自殺者数について、手元に資料がないためわからない。</p> <p>9月が自殺予防週間であるのは、子どもが長期休暇後に学校へ行きたくないため、自殺が増える傾向があるからと考えられる。本市については、若年者の自殺は非常に少なく、未成年者の自殺者はいない。</p> <p>3月が自殺対策強化月間であるのは、異動や新生活が始まるなど環境の変化のため、自殺が増える傾向があるからである。</p>
委員	<p>ストレス社会の中でも心強く生きるためのストレスに対する抵抗性を身につけてもらう取組を行ってほしい。身につけていくためには、子どもの頃から取り組んで行く必要がある。教育委員会と連携しながら、心身ともに健康な子どもを育てる教育システムを作ってもらいたい。</p>
事務局	<p>ストレスをどのようにコントロールしていくかについては、メンタルヘルスの出前講座や健康教育などで対応していきたい。</p> <p>また、子どものこころの健康については、学校教育課がしっかり取り組んでおり、情報交換をしながらこころの健康づくりを行ってほしい。</p>
事務局	<p>労働安全衛生法の改正のため、平成27年12月1日から、従業員50名以上の事業所については医師または保健師等によるストレス検査の実施が事業主に義務付けられた。国においても施策の面からこころの健康を重要視してきている。</p>
議長	<p>逆の観点から言うと、自殺者数が多い無職の人の対策をどうすべきかを考えていかななくてはならない。</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>第1回山陽小野田市健康づくり推進協議会において、後日回答とした案件について回答する。</p> <p>質問は、保健事業概要7頁の乳幼児健康診査実施状況における1か月児、3か月児など区分ごとの有所見率について本市と県内他市町の比較であった。</p> <p>平成26年度は、どの区分においても本市の数値は県内平均よりも低かった。一方、平成25年度は、どの区分においても本市の数値は県内平均よりも高いという結果であった。年度によって、全く異なる結果となった原因は、有所見率を算出するにあたって、分母である受診児数の</p>

議 長	<p>数値が低いため、有所見児数の少しの上下が有所見率に大きく反映してしまうことが考えられる。</p> <p>意見、質問等ないか。 (意見、質問等なし)</p> <p>次回開催予定 2月25日(木曜日) 18時00分～ 小野田保健センター</p>
--------	---